



南海「和歌山大学前」駅から和歌山バスで約4分
南海「和歌山市」駅から和歌山バスで約20分
JR「和歌山」駅から和歌山バスで約30分

会 場：和歌山大学 西4号館（観光学部棟）T101教室
〒640-8510 和歌山市栄谷930

キャンパスマップはこちら →



定 員：社会人 80名、 観光学部学生 40名
講習料：無料

※4回以上の講座に出席いただいた方には、修了証書を交付いたします。



申込み・問合せ先：和歌山大学 観光学部 観光実践教育サポートオフィス
(電話) 073-457-8581/8553 (FAX) 073-457-8553
(E-mail) t-renkei@ml.wakayama-u.ac.jp
(HP) <http://www.wakayama-u.ac.jp/tourism/>



2019年度 観光カリスマ講座



■主催

国立大学法人

和歌山大学観光学部
和歌山県

■後援

公益社団法人和歌山県観光連盟



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

2019年度

観光力リスマ講座

本講座は、観光地や観光ビジネスにおいて高く評価されているキーパーソンを講師に招聘します。各方面で活躍されている方々のユニークな着眼点やリーダーシップを発揮しての事業の推進、異業種を巻き込んだのコンセンサスの形成方法等の実践事例を拝聴するなかで、和歌山県を始めとする地域の観光振興とまちづくり再生の方向性を探ります。

会場／和歌山大学 西4号館（観光学部棟）T101教室 受付開始／17:30～

第1回 わが国の観光施策と地域づくりについて

10月17日(木) 18:00 ～ 19:30

観光庁 観光地域振興部
観光資源課長

かわだ あつや
河田 敦 弥

政府では2020 年訪日外国人旅行者4,000 万人等の目標に向けて様々な施策を講じているところ、特に地方部へのインバウンド旅行者の来訪、滞在、消費を促進させる取組みを最優先課題としています。

DMOの形成促進、観光コンテンツづくり、人材育成等の様々な施策について、先進地域や諸外国の事例を交えながらその背景や狙いなどをご紹介します。

第2回 「笑」あるところに人は集まる！

11月7日(木) 18:00 ～ 19:30

鷺羽山下電ホテル
ゆのこう美春閣 女将

ながやま いすみ
永 山 泉 水

私たちの仕事は旅館の規模に関わらず人を笑顔にすること。

大学卒業してから間もなく20年、観光業でしか働いたことのない私が出した結論です。笑顔がある場所に人は集まる。お客様はもちろん、スタッフ、地域の皆さん、共に走る同志と共に、何事も明るく元気にポジティブをモットーに走り続けている私の活動内容と共に、今後の観光業に必要なだと今感じている事をお話します。

第3回 “宙ツーリズム” 新しい観光による地域活性化の取組

11月21日(木) 18:00 ～ 19:30

一般社団法人 宙ツーリズム推進協議会 理事
株式会社電通 宇宙ラボ 主任研究員

あらい まこと
荒 井 誠

“宙（そら）ツーリズム”は、空（SKY）・スペース（SPACE）・宇宙（UNIVERSE）の多岐にわたる魅力の総称を「宙」と捉え、多くの人々に幸・癒し・夢の提供を目指しています。2018年度より「観光庁のテーマ別観光による地方誘客事業」の選定を受け活動を進めています。

北海道から沖縄まで、星空観望からロケット打上応援ツアーまで、多彩な宙観光資源を誇る自治体や観光事業者が参画し、知見の共有や発信に取り組んでいます。

本講座では、宙ツーリズムのマーケティング調査による将来の市場ポテンシャルや、「鳥取県は星取県」などの自治体のブランディングの取組、ハケ岳スターラウンドナビゲーターといった地域人材の育成・活躍ぶりなどをご紹介します。

第4回 西国三十三所草創1300年によせて —日本遺産西国巡礼認定ストーリーから寺院観光を考える—

12月5日(木) 18:00 ～ 19:30

西国第16番札所清水寺 執事補
京都観光おもてなし大使 他

もり せいげん
森 清 顕

西国三十三所観音巡礼は、昨年草創1300年を迎え、本年度日本遺産の認定を受けました。この巡礼は、奈良長谷寺の徳道上人が閻魔大王の命によってつくられ、平安期に花山法皇が整備された近畿2府4県と、岐阜県に点在する観音霊場の古刹を巡るものです。西国三十三所が、日本遺産認定を受けたストーリーは「1300年つづく日本の終活の旅～西国三十三所観音巡礼～」です。では、なぜ「終活の旅」というストーリーになったのか、宗教的・信仰的な巡礼を、現代における観光PRとどのようにつなげるのかなど、寺院の立場から観光を考えます。

第5回 持続可能な観光地域づくりへの思考法

12月19日(木) 18:00 ～ 19:30

株式会社インアウトバウンド仙台・松島
代表取締役

にしや らいすけ
西 谷 雷 佐

観光客が“来るだけ”で地域は良い方向に変わらず、稼がない観光はむしろ地域を疲弊させます。いかに地域内調達率を向上させクリエイティブな観光コンテンツを造成できるか。さらには継続的に展開できるか。その土台は「編集力」にあります。

この講義では東北で実際に展開されている着地型観光及びインバウンド誘客に伴う思考法と、その背景にあるマーケティングについてお話しします。